

講座名	平成28年度 ひきこもり支援者研修会 ひきこもる心の理解と支援のあり方
講師	とみた おさむ 富田 伸 氏 (医療法人 富田醫院 院長)
開催日時	平成28年10月13日(木) 18:30~20:30
開催場所	北九州市総合保健福祉センター 2階 講堂
参加者数	98名 (行政職員、保健師、障害者支援員、養護教諭、教員、ケアマネジャー等)
講座の内容等	<p>ひきこもりの背景要因として発達障害の増加、トラウマとの関連など、文献やご自身の体験談をもとに説明があった。「子どもは親の成長を支援するために、その親を選んで生まれてくる」「子どものひきこもりという出来事を通して、親に何を教えてくださっているのか」等宗教的な幅広い視点から、ひきこもりの支援のあり方や姿勢を学んだ。また、ひきこもりの当事者が支援者になる資質があることや、ひきこもり体験記の紹介があり、当事者の体験から学ぶ、良い機会となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・聴講生の多さ、関心の高さに驚いた。日頃と違った角度で勉強になった。 ・最近の生徒や学生には発達障害が多いと感じており、ひきこもりと発達障害の関係について勉強になった。今後の生徒、学生の指導にプラスになった。 ・支援に正解がないなか、ご自身の経験やスピリチュアルな考え方を取り入れてもよいこと、他人事と考えないことが大切だということがわかり、心穏やかになった。 ・とてもわかりやすく、面白い研修で、孤立と無縁が原因だと知った。また体験談など心に響くものがあった。子どもへの見方や先祖、家系など意識してみたい。 ・人を支援することの大切さを再認識した。理解の前に、まずは支援者としての心のあり方を学ぶことが必要だと思った。 ・ひきこもりの背景要因が大変分かりやすく解説されていて、理解できた。特にひきこもりの大きな原因に知覚過敏があるとの説明は、支援に関わった経験から大変納得できる。ひきこもりをポジティブにとらえる視点が新鮮に思えた。 ・支援者が相談者と向き合うときの姿勢を学んだ。「子は親の魂を磨くために生まれてくる」＝「相談者は支援者の心を磨くために登場する」と理解した。 ・ジェノグラムの大切さを実感した。生きるための工夫をご本人やご家族とともに一緒に考えていきたいと思う。あたたかいお話、ありがとうございました。

